

においがわかるしくみ

監修：笠井耳鼻咽喉科クリニック 院長 笠井 創 先生

においのもと、目に見えない

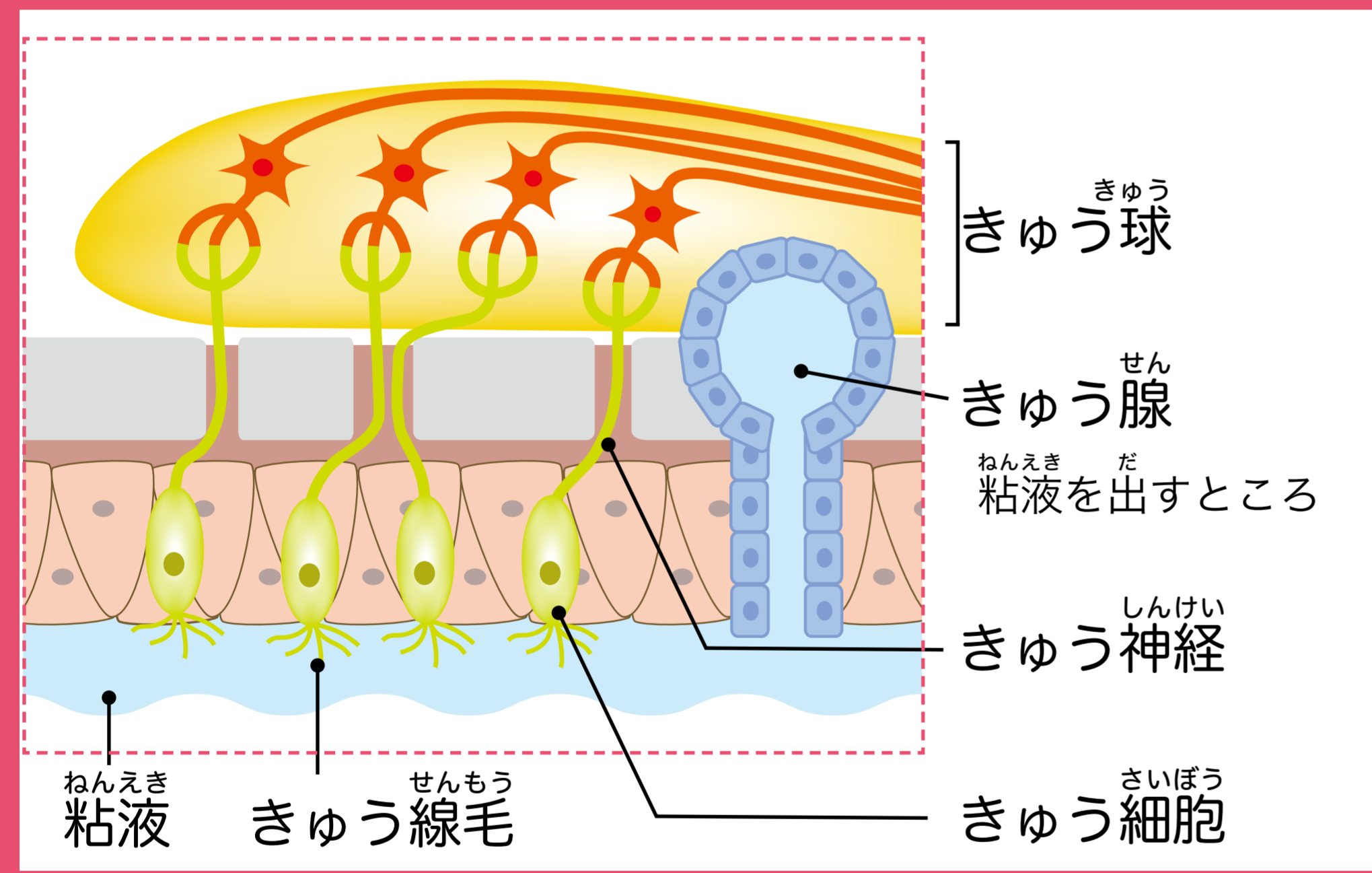
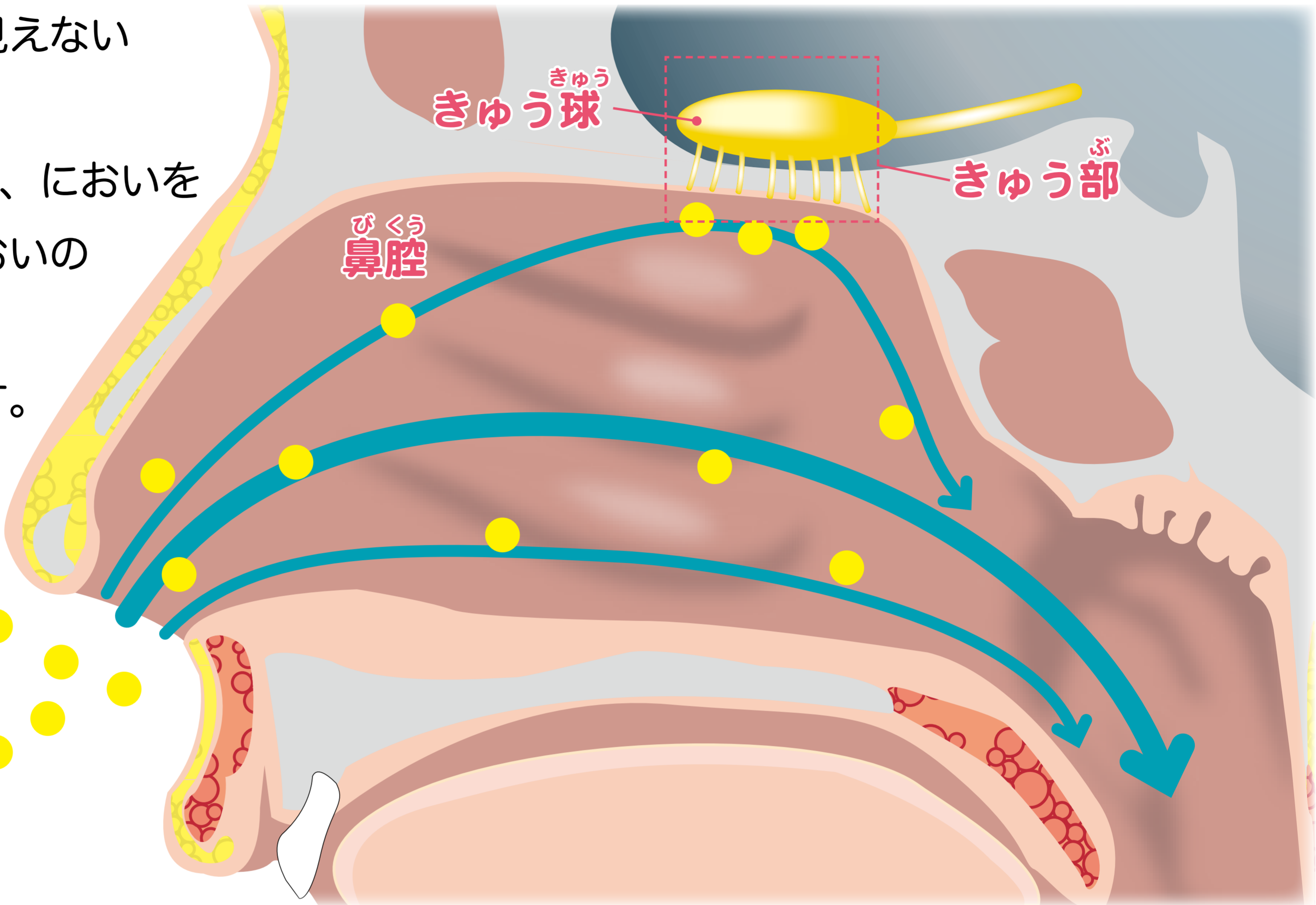
においの分子です。

鼻の中(鼻腔)の天井に、においを

感じる部分があり、においの

分子は粘膜にとけて、

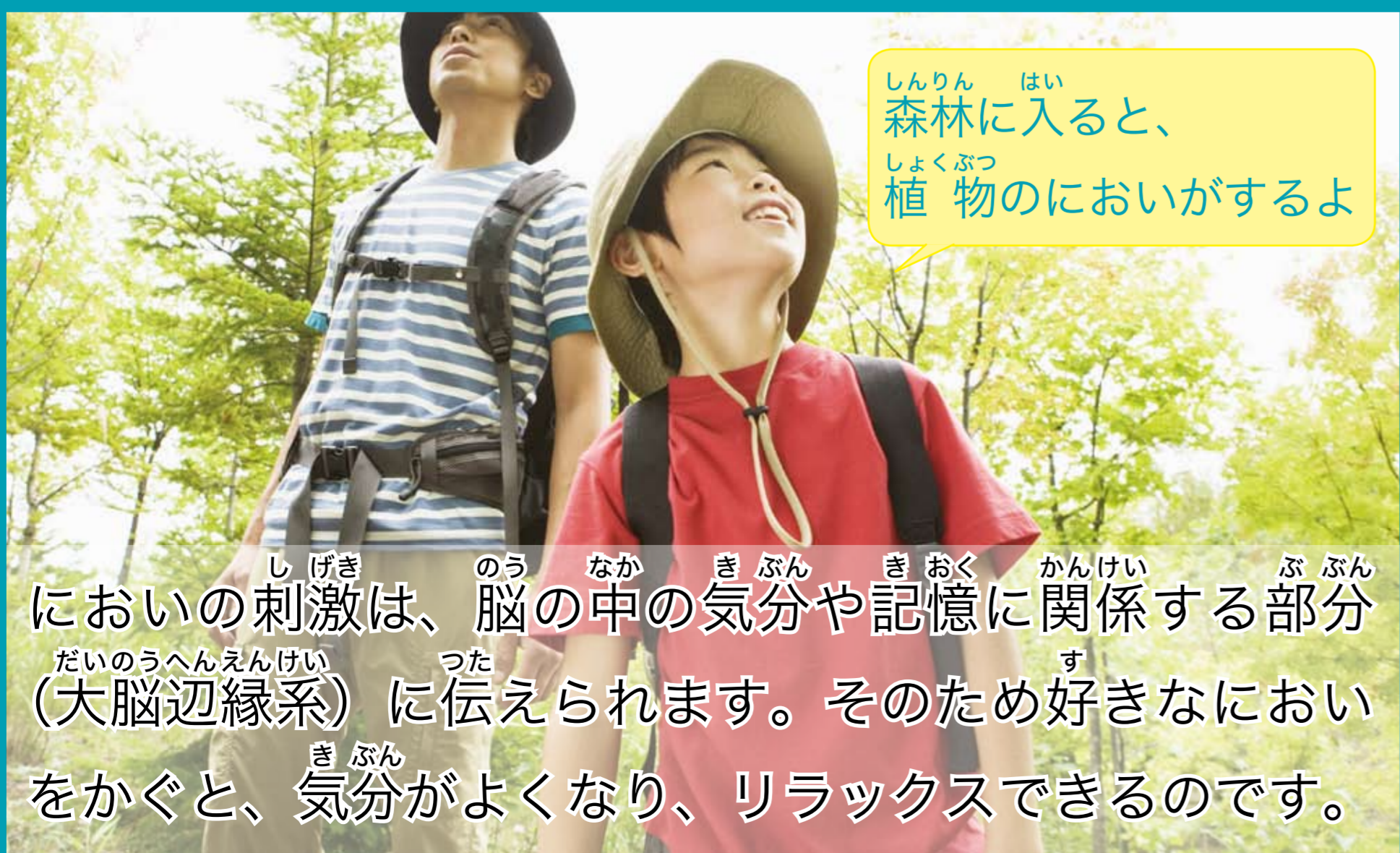
きゅう細胞を刺激します。



においを感じる「きゅう部」

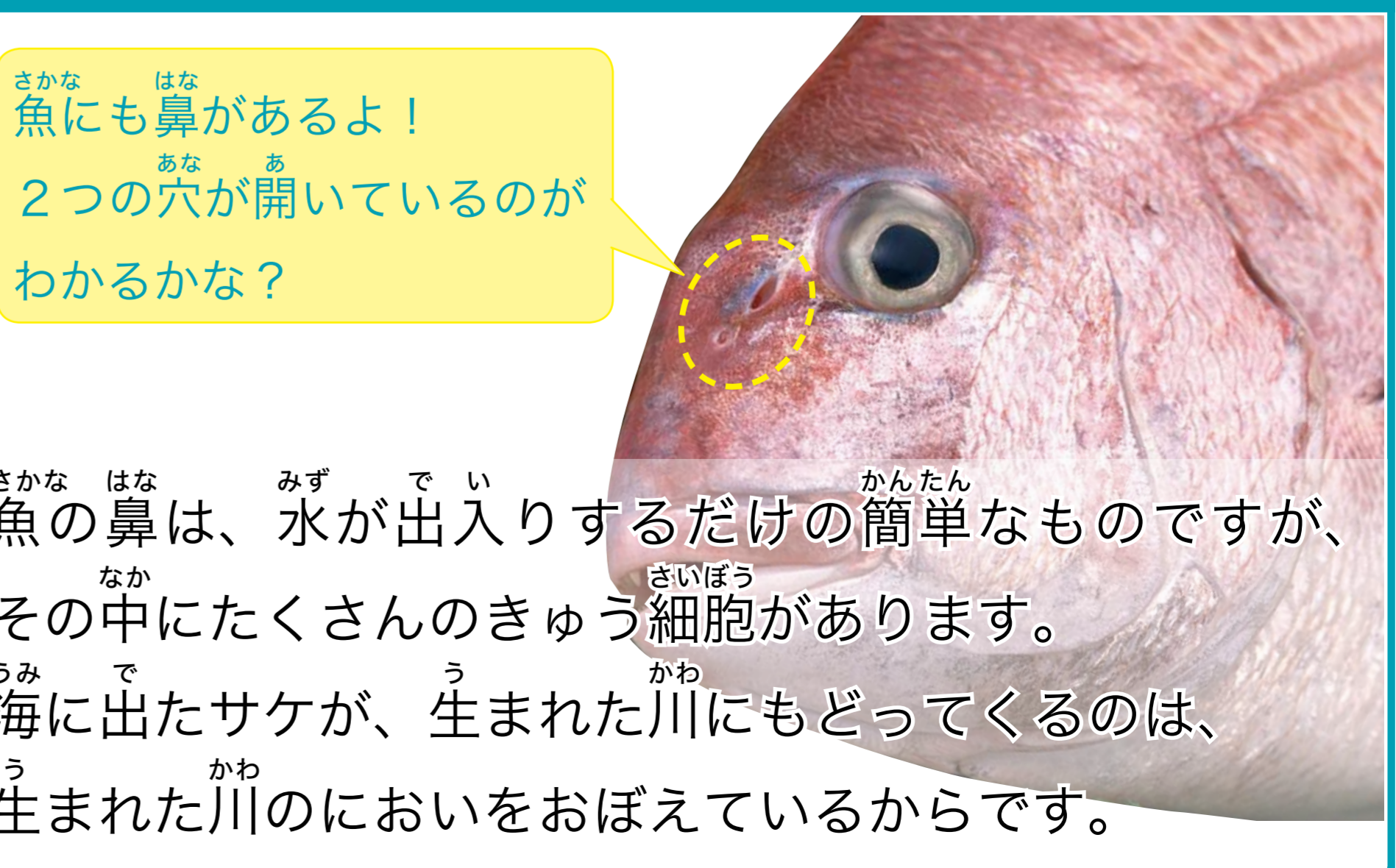
- 鼻腔の中のきゅう部には、きゅう細胞が集まっている。
- きゅう細胞は、粘液の中にアンテナのように線毛を出して、においの分子の刺激を受け取る。
- きゅう神経は、きゅう球から大脳へとにおいの信号を伝える。

好きなにおいは、気分をよくする



においの刺激は、脳の中の気分や記憶に関係する部分(大脳辺縁系)に伝えられます。そのため好きなにおいをかぐと、気分がよくなり、リラックスできるのです。

水のおいをかぎ分ける、魚のきゅう覚



魚の鼻は、水が出入りするだけの簡単なものですが、その中にたくさんのきゅう細胞があります。海に出たサケが、生まれた川にもどってくるのは、生まれた川のおいをおぼえているからです。